

アグリフォーラム (研究講演会)

期間 **2015 10/17** 土 12:45～14:00

会場 **農学部7番講義室**
(総合教育研究棟(生命系)1階)

岩手大学農学部の研究活動と、その成果をお話しします!!

今回は「**寒冷地における植物**」「**減災**」といった本学部の特色的研究に加え、来年度始まる水産システム学コースから「**リスクに強い持続的水産システム**」についてご紹介!

高校生の皆さんはもちろん、農学部に興味を持っていただいている方から、普段「『農学』って何?」と疑問に感じている方まで、是非、この機会に農学部の魅力に触れてみて下さい!!

PROGRAM

研究講演①

植物生命科学科
12:50～13:10 河村 幸男 准教授

講演テーマ

凍った植物を顕微鏡で観る
冬の植物は氷点下でどのように生きているのか?



研究講演②

森林科学科
13:15～13:35 井良沢 道也 教授

講演テーマ

住民と共に歩む土砂災害からの減災を目指して
～始まったばかりの砂防コミュニティ施策～



研究講演③

食料生産環境学科
(水産システム)
13:40～14:00 石村 学志 准教授

講演テーマ

リスクに強い持続的水産システムとは
三陸沿岸における水産復興のグローバルな重要性和戦略のありかた



MAP



同時
開催

ポスターセッション

会場 遠隔講義室(総合教育研究棟(生命系)1階)

大学院生、技術職員が自分の研究を
ポスターで分かりやすく発表します。

12:00～15:00

* ポスターセッション *

時 間	12:00～15:00 (14:00～15:00は出展者の解説もあります！)
場 所	総合教育研究棟(生命系) 1階 遠隔講義室

農学部で日夜、研究しているのは、教員だけではなく！ポスターセッションでは、農学部及び農学研究科の学生や、農学系の技術職員の研究成果を、わかりやすくポスターでご説明します！

14時から15時には、ポスターを作成した学生、技術職員による研究内容についての解説も行います！！

本日のポスター展示テーマ(一部です)

シイタケ栽培後の廃菌床でクッキングマット‘すずこま’は育つのか！？

リンゴモザイク病罹病樹から検出された新規ウイルス[リンゴえそモザイクウイルス(仮称)]に関する研究

栽培リンドウと外国の野生種リンドウとの種間雑種の作出

発熱植物ザゼンソウに観察される負の活性化エネルギー

クローバーの葉をつくる遺伝子

タンパク質膜挿入に必須の糖脂質酵素MPlase の生合成因子の同定

酵母の減数分裂と孢子形成

ネコの行動を制御する化学物質の探索

東北地方における大型タワーヤーダの導入可能性

葉の被食防衛と繁殖頻度にトレードオフは見られるか？—冷温帯林の代表的先駆種であるシラカンバを例に—

リンゴ廃果の養豚飼料としての利用可能性の評価

タイ産ホムトンバナナのポジションと生協の戦略

畝を有する圃場におけるトラクタの自律走行

DNAから見た三陸岩手におけるカラフトマスの生物特性

日本短角種って、知ってる？～植物由来の酵素で硬いお肉を軟らかいお肉に～

ウシ胎盤節に存在する二核細胞の機能解析

ウシさんと寄生虫くん、1万年の大旅行

牛ウイルス性下痢ウイルスの新規ワクチンの構築

オキシトシン負荷試験を利用した牛の早期不受胎診断法

無尾両生類の遺伝的多様性を指標とした津波で被災した生態系の回復に関する研究

水稻乾田直播栽培における既存機械を用いた作業体系

岩手大学滝沢演習林の松枯れ対策

御明神演習林における路網施設災害の特徴—2013年8月豪雨の例—

「ポスターセッション」とは？

研究発表などの形式のひとつで、発表者が研究内容をポスターにまとめて掲示し、参加者に説明するものです。